

ぼうさい通信 Vo.52



令和4年2月16日発行

今月のテーマ

「県防災情報メール・災害伝言ダイヤル・災害用伝言板」

先月、インドネシア付近で大きな地震が起こり、夜から朝に掛けて津波が起こると心配なニュースが日本中で流れ続けていたことを覚えていると思います。その数日後、宮崎県でも震度5強の地震が発生し、私たちも一瞬「またか!」と思う大きな揺れに、恐怖を感じたことだと思います。

最近、ニュースや報道番組等で、南海トラフ地震のことが取り上げられたり、震度5を超える地震が多く発生していたり、災害が「いつ?どこで?」発生してもおかしくない状況になっています。「熊本は一回起こったから。」なんて思っている人はいないでしょうか? 災害がどこで起こるかわからない気象状況の今、真剣に自分や大切な人の命を守ることを考えなければいけません。

本校の『ぼうさい通信』は、「今知っておけば、考えておけば、やっておけば、身を守ることができる。」を考えて発信しています。今回は、知っておけば、すぐにやれることの一つ、「防災メールと災害伝言ダイヤル」についてお伝えします。

読み終わったら、すぐに行動開始! (登録や確認)をお願いします。m()m

【熊本県防災情報メールサービス】

◎熊本県では、最新の防災情報をメールで配信しています

県内の気象注意報・警報、土砂災害警戒情報、地震・津波情報や火山噴火情報(阿蘇山・九重山)のほか、県内各地に設置された河川水位などの情報が、発表後、携帯電話に直ちにメール配信されるサービスです。万に備えて、まだ登録をしていないという人は、メール受信の設定を行いましょう。

《メール配信サービスの登録・変更方法》

下記のサイトにアクセスし、[空メールを送信する]から空メールを送信して登録・変更を行ってください。

▼PC・スマートフォンの場合

<https://plus.sugumail.com/usr/kumamoto-pref/home>

▼フィーチャーフォン(ガラケー)の場合

<https://m.sugumail.com/m/kumamoto-pref/home>



※「熊本県防災情報メールサービス」にアクセスすると、詳しい登録の手順を見ることができます。

【災害伝言ダイヤル】

地震など大災害発生時は、家族や親戚、友人の安否が分からず、安否確認、見舞、問合せなどの電話が急激に増加し、電話がつながり難い状況が災害発生当日~数日間続き情報混乱が起こりがちです。NTT 東日本、西日本では、この様な状況の緩和を図るため、

災害時に限定して利用可能な「災害用伝言ダイヤル(171)」が提供されています。災害用伝言ダイヤルは、被災地の方などの電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。

伝言録音時間： 1 伝言あたり 30 秒以内

伝言保存期間： 災害時から提供終了まで

伝言蓄積数： 電話番号あたり 1～20 伝言まで

NTTからの通話は基本的に無料ですが、他通信事業者の電話から発信する場合は問い合わせが必要です。また、使える電話も事前に確認が必要です。

利用できる伝言の総容量は約800万件です。被災地の多くの方が利用できるように、災害が発生した地域や状況に応じて運用されます。知っておくと緊急時には、必ず役に立つので覚えておきましょう。他人に聞かれない伝言も、暗証番号などで利用できます。

災害伝言ダイヤルは体験ができます。

〈体験利用日〉

毎月 1 日及び 15 日	00:00～24:00
正月三が日	1 月 1 日 00:00～1 月 3 日 24:00
防災週間	8 月 30 日 9:00～9 月 5 日 17:00
防災とボランティア週間	1 月 15 日 9:00～1 月 21 日 17:00

万が一に備えて、家族や、遠くにいる親戚や友人等と体験してみましょう。

【災害用伝言板】

「災害用伝言板」とは震度 6 弱以上の地震など、大きな災害が発生した時に、被災地域に住んでいる人または滞在中の人が、携帯電話やスマートフォンから自分の状況を登録することができ、登録された安否情報はインターネットなどを通じて、全世界から確認することができる災害時専用のサービスです。また、事前に指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールで知らせたり（登録お知らせメール）、被災地の人に災害用伝言板への安否情報の登録を依頼（登録お願いメール）したりすることができるサービスです。

メールや LINE を使いこなしている皆さんは、電話よりインターネット活用が多いと思います。各携帯メーカーによって内容が異なるため、この期に一度確認し、いざというとき慌てないで良いようにしておきましょう。

現在は、多くの情報ツールがあります。災害時には、ツールを上手く活用するのとは異なるのでは、生命にも関わってきます。皆さんは、携帯の機能を上手に使っていると思いますが、災害に備えた情報ツールを是非上手に利用して欲しいと思います。知っていたけど・・・ やっておけば良かった・・・ とならないように、

読み終わったら、**すぐに行動開始！（登録や確認）を！！** (^~)/

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月 16 日発行)
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。